

**K I P（北九州情報サービス産業振興協会）**

**平成 30 年度通常総会**

**議 案 書**

# 目 次

ページ

## 第1号議案

平成29年度事業報告及び収支決算について・・・・・・・・・・ 1

## 第2号議案

平成30年度事業計画及び収支予算について・・・・・・・・・・ 7

## 平成29年度 事業報告

### 1. 理事会・総会・交流会の開催について

#### (1) 理事会

第1回：2017年6月28日（水）

- ・ 役員を選任について
- ・ 平成29年度通常総会について

第2回：2017年10月27日（金）

- ・ 平成29年度（4月～9月）の事業報告
- ・ OFF TOKYO MEETUP 2017（11月11日（土））への参加について
- ・ ホームページの機能改善について

第3回：2018年3月30日（金）

- ・ 平成29年度の事業報告、および決算見込みについて
- ・ 平成30年度の事業計画、および予算編成方針について
- ・ 規約の改正について

#### (2) 通常総会

日 程：2017年6月28日（水）

参加者：28名

議 案：

- ・ 役員を選任について
- ・ 平成28年度事業報告及び収支決算について
- ・ 平成29年度事業計画及び収支予算について

#### (3) KIP サロン

総会

開催日：2017年6月28日（水）

テーマ：「北九州市におけるU・Iターンの取組み、U・Iターンによる人材確保のポイント」について

講師：北九州市産業経済局 雇用対策係長 宮崎 氏

北九州市U・Iターンオフィス 専任コンサルタント 長谷川 様

参加者：講演会 37名、懇親会 32名

賀詞交歓会

開催日：2018年1月15日（月）

テーマ：「怒りで後悔しないために～アンガーマネジメントを知ろう～」

講師：フリーアナウンサー 山本 様

参加者：講演会 31名、懇親会 27名

## 2. 主な活動の報告

### (1) U・Iターン人材の紹介

外部の団体（北九州U・Iターンオフィス）と連携し、北九州市での就職を希望する人材の紹介を実施した。

※マッチング実績なし。

### (2) インターンシップ

外部の団体（北九州商工会議所）と連携し、商工会議所の主催するインターンシップの紹介を行った。

※申込実績なし。

### (3) KITAKYUSHU ゆめみらいワーク 2017 への出展

日程：2017年8月25日、26日

場所：西日本総合展示場 新館

内容：地元の小・中学生、高校生、大学生、保護者、教員等に会員企業のアピールを行った。

来場実績：約6,600人

### (4) OFF TOKYO MEETUP2017 への参加

日程：2017年11月11日

場所：STAR RISE TOWER 5F 「Studio Earth」（東京都港区芝公園4-4-7）

内容：会員企業のPR及び人材の確保を目的とし、北九州市のブースにて北九州市へのU・Iターンの働きかけを行った。

来場実績：約220人（エンジニア比率50%）

KIP参加者：4人（事務局除く）

### (5) 会員情報冊子の更新

- ・OFF TOKYO MEETUP2017での配布にあたり、KIP会員情報冊子のリニューアルを行った。
- ・更新後の会員情報冊子をKIPホームページで公開した。

### (6) ホームページ

- ・ホームページのリニューアルに伴い、運用管理業務をリンクソフトウェア(株)に委託した。また随時内容の更新を実施している。

### (7) メーリングリストによる情報提供

他団体から寄せられる情報を、メーリングリストを活用して会員に随時提供中。

- ・7月14日：U/Iターン人材のご紹介（再掲）
- ・7月25日：インターンシップのご案内（再掲）
- ・9月22日：ハイパーネットワーク 別府湾会議 2017
- ・10月07日：外国人留学生インターンシップ成果報告会
- ・10月07日：先進的介護を目指す介護ロボット等の紹介（IITek/、中小企業テクノロジー）
- ・10月14日：アイデアソン「IoT新時代のスマートシティの創り方」
- ・10月17日：「OFF TOKYO MEETUP2017」への参加募集について
- ・12月17日：「北九州みらいのビジネスプランコンテスト2018」について
- ・1月06日：民間事業者におけるマイナンバーカードの利活用について
- ・1月22日：『平成29年度情報モラルシンポジウム in 大分』について
- ・1月25日：『NEC ソリューションフェア in 北九州 2018』について

等

### 3. 会員数について

(2018年7月1日現在)

全会員数	48社
正会員数	25社
賛助会員数	23社

余白

## 平成29年度 収支決算書

(単位：円)

収 入		支 出	
科目	金額	科目	金額
会費	1,290,000	人材育成事業費	0
雑入(利息・懇親会費等)	207,022	交流事業費	397,010
事業収入	0	広報事業費	518,283
		総 会 費	147,946
		理 事 会 費	4,680
		事 務 費	10,400
		予 備 費	0
当期収入合計	1,497,022	当期支出合計	1,078,319
前期繰越収支差額	1,734,205	当期収支差額	418,703
収入合計	3,231,227	次期繰越収支差額	2,152,908

# 平成 29 年度 会計監査について

北九州情報サービス産業振興協会  
会 長 松 岡 信 行 殿

平成 29 年度会計監査の結果について次のとおり報告する。

## 記

北九州情報サービス産業振興協会の運営に伴う平成 29 年度分の収入及び支出について、会計監査を行った結果、帳簿及び証拠書類等が正確に処理されていることを認める。

平成 30 年 7 月 17 日

北九州情報サービス産業振興協会

監 事

加来伸一郎



監 事

麻上俊泰





### 平成 30 年度 KIP 事業計画

#### 基本方針

平成 30 年度は人材育成事業、および交流事業に関する取り組みを重点的に実施する。

経営者層、および中堅社員層等各階層毎のセミナー・講演会を開催し、企業経営・リーダーシップ・マーケティング等、今後の企業活動に役立つ情報の提供を行うほか、次世代を担う若手社員の交流の場を設け、会員企業間の更なる交流促進を図る。

また、広報事業については、29 年度の反省を踏まえ、実施方法等の見直しを行う。

#### 1. 人材育成事業

##### (1) 階層別講演会

経営層・中堅層・新人層等、企業人員階層に併せたセミナーや講演会を開催する。

##### (2) KIP スクール

昨年度と同様北九州産業学術推進機構（FAIS）や他団体の実施事業等を活用し、参加者の受講料の一部を支援する形式とする。

従来の KIP スクールについては、提供カリキュラムの見直しを行い、北九州市内での開催再開を検討する。

- KIP 会員企業の社員が研修等に参加する場合、KIP より受講料の一部を支出する。（受講料の 1/2。但し上限を 5 万円とする。）
- FAIS や他団体が実施する人材育成講座や、自治体等が主催する各種講座を活用する。
- その他会員企業から情報提供された人材育成講座等について、メーリングリスト等により会員間で情報共有する。

## 2. 交流事業

### (1) KIP サロン（総会・賀詞交歓会）

会員相互の交流と情報交換を図るため、講演会及び懇親会を開催。

### (2) 交流事業

#### ○ 相互訪問事業

取り組みについて周知するが、結果報告書は求めない形式で実施する。

#### ○ 他団体との交流事業

九州インターネットプロジェクト（QBP）や北九州 e-PORT 推進機構主催のイベント、ワークショップ等への参加案内を行う。

#### ○ 若手、中堅社員交流会

地場企業の見学会や講演会、懇親会等を通じ、次世代を担う若手・中堅社員同士の交流促進を図る。

### (3) 経営者勉強会

雇用問題・経営課題を題材にした勉強会を実施する。（年1回を予定）

※総会、または賀詞交歓会との同時開催を予定

## 3. 広報事業

各会員企業の人材確保に向けた取り組みの強化に向け、広報活動を継続する。

(1) 北九州市東京事務所等と連携し、各社の人材確保につなげるためのPR活動・情報提供を実施する。

(2) KIP ホームページの機能強化については、引続き検討する。

(3) 情報提供については、メーリングリストを活用し会員にとって有用な情報をお知らせする。

## 4. その他

### (1) インターンシップ事業

※北九州商工会議所と連携し、インターンシップを通じて人材の確保や大学との連携の強化を図る。

### (2) U/I ターン人材の紹介

北九州 U/I ターンオフィスと連携し、引き続き人材の紹介を行う。

## 平成30年度 収支予算書

(単位：円)

収 入		支 出	
科目	金額	科目	金額
会費（含入会金）	1,110,000	人材育成事業費	300,000
雑入（利息・懇親会費等）	336,000	交流事業費	850,000
		広報事業費	240,000
		総 会 費	400,000
		理 事 会 費	10,000
		事 務 費	30,000
		予 備 費	0
当期収入合計	1,446,000	当期支払合計	1,830,000
前期繰越収支差額	2,161,656	当期収支差額	-384,000
合 計	3,607,656	次期繰越収支差額	1,777,656

余白